

おためし地域おこし協力隊 8名がやってきました！

令和2年4月の地域おこし協力隊採用（集落支援分野）に向けたおためし体験会・採用面接会を開催しました！

「地域コミュニティ形成事業」の中心的な担い手として期待される「地域おこし協力隊員」を令和2年4月に導入するため、採用面接会に併せた「おためし体験会」を開催しました。全国各地から集まった「おためし地域おこし協力隊員」に参加していただきました。

【開会と講習】

おためし体験会に参加した隊員は、大阪、愛知、千葉、神奈川の道外から5名、道内は旭川、檜山管内から3名の計8名。隊員たちは、野々村仁町長からおためし地域おこし協力隊の委嘱状を交付され、担当者の事業説明などを受けた後、自己紹介をしました。

次に、中小企業診断士やホスピタリティコーディネータの資格をもつ吉本平史氏を講師に招き、話し合いやイベントを通して住民の皆さんと信頼関係を築き、事業を進めていくノウハウなどについて学びました。



【地域住民交流会】

4月以降、地域おこし協力隊員の活動拠点として予定している問寒別地区で、地域住民の皆さんと交流会を開きました。各隊員が、自己紹介の中で個人的な体験談や趣味などを紹介すると、会場は盛り上がり、和やかなひとときを過ごしました。



【地域協力体験】

地域協力活動として、雪国ならではの楽しみを地域の子供たちに伝える「スノーモービルランド」（ワラベンチャー問寒クラブ主催）に参加し、子供たちが楽しめるよう用具の準備や昼食の準備、後片付けなどのサポートをしました。当日の朝はマイナス30℃にも達する猛烈な寒さでしたが、隊員たちは太陽に照らされた白銀の世界に魅了されたようで、手伝いの合間にスノーモービルを試乗し、雪原を疾走。童心に返ったように、問寒別の冬遊びを楽しんでいました。



このたびのおためし地域おこし協力隊事業に、地域のたくさんの皆さんにご協力いただきましたことを感謝申し上げます。今回のおためし隊員の中から、4月以降の地域おこし協力隊員が決まりますので、早く地域に馴染めるよう、地域の皆さんには、引き続きご協力をお願いします。